

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成24年5月24日(2012.5.24)

【公開番号】特開2010-240103(P2010-240103A)
 【公開日】平成22年10月28日(2010.10.28)
 【年通号数】公開・登録公報2010-043
 【出願番号】特願2009-91288(P2009-91288)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】
 【提出日】平成24年4月3日(2012.4.3)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

前面に遊技球を流下させる遊技盤を備え、該遊技盤の前面に、遊技球を所定方向へ案内する役物が配置された遊技機であって、

前記役物に、入賞口が一体的に形成され、流下してきた遊技球を受ける受球面壁が形成され、該受球面壁に対し、遊技盤の盤面に対して平行となることなく傾斜する体勢で交差する前面壁が形成されていることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記受球面壁が、前記入賞口の下流側であって、該入賞口に入球しなかった遊技球が当り得る位置に配設されていることを特徴とする請求項 1 記載の遊技機。

【請求項 3】

前記役物の入賞口に上端部が連通するとともに、下方に配置された別部材の排球通路に下端部が連通して、該入賞口に入球した遊技球を下方の排球通路に案内する球通路を有する球通路部材が遊技盤の裏面側に配置されていることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記遊技盤の前面に、遊技球が入球し難いまたは入球し得ない閉位置と入球し易い開位置との間で変移するように開閉動作する開閉羽根が配置され、前記役物が、該開閉羽根の側方に配置されていることを特徴とする請求項 3 に記載の遊技機。